

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 菊清会
施設名	ふかさわミル保育園
報告者(役職)	伊藤 里美(園長)
住所・連絡先	東京都世田谷区深沢1-32-24
	☎ 03-6432-1546 E-mail

○タイトル(保育計画)

見て・遊んで・学ぶ 異年齢で行う サーキット

○主な助成備品

運動教具他

1. 保育計画策定の目的

乳幼児の運動低下に伴い、毎日のあそびの中から運動能力を引き延ばす保育を考えると、「這う」、「立つ」、「歩く」の順番やスピードは今も昔もさほど変わらないものの、最近の子どもたちを見ていると、バランスを保つ力(揺り戻すちから=体幹)が習得されていないように感じています。その原因のひとつには、核家族化や都市型保育による影響が大きく作用しているように思われます。

「見て・遊んで・学ぶ 異年齢で行うサーキット」(連続性のある運動遊び)とは、運動遊具や子どもの興味のあるものをそれぞれの課題やテーマに沿って配置し、そこで子どもが体を動かしてサークルしながら遊ぶ中で、体幹や体の動きを異年齢の子ども同士の中から自然に学び取って運動遊びへと発展させていくものです。



2. 具体的な実施内容

リトミックデー・・・運動教具の環境設定

みんなであそぼう等の写真・・・園舎内での運動教具から親子での運動遊びへの展開

◎テーマ・・・思いで

活動日	3月8日	活動構成	0歳（9名） 1歳（10名）
時間設定	9：30～9：45 9：50～10：05	活動場所	2F ランチルーム

- ねらい
- ★2階ランチルームのサーキットを楽しむ(普段は3回一時預かり室)
 - ★バランス感覚を養う
 - ★足・腰を使う動きを楽しむ

丸太を乗り越える	腕の力	お尻からおりる	身体の使い方を知る
JPクッション	ジャンプ	凸凹道を渡る	バランス感覚
トンネルくぐり	空間認識	橋をわたる	平衡感覚
山を越える（斜面）	腕の力		

- ※お楽しみ要素・・・キャンデーをあおむしダンボールに入れる
タンブリンを叩いて音を楽しむ



一番集中して行っていた場所・・・ウレタンの平均台を傾斜を付けたときに、積極的に登ったり下りたりする姿があった。

一番楽しんでいた事・・・丸太越え・円形のウレタンに乗ること

個人的配慮が必要だったこと・・・1階ランチから、2階北ゾーンへ行こうとする子が数名いた。(設定を工夫する)

◎テーマ・・・「虫・落ち葉」

活動日	11月28日	活動構成	2歳(20名) 3歳(10名)
時間設定	9:30~10:00	活動場所	しかく・さんかく

- ねらい
- ★体幹を鍛える
 - ★トンネルくぐりを楽しむ
 - ★らんらん(3歳児)とのサーキットを楽しむ



一番集中して行っていた場所・・・ビームを這う事
 一番楽しんでいた事・・・ニューゲームのトンネル
 個人的配慮が必要だったこと・・・サーキットのまわり方をわからず逆送したり、登って
 はいけないところに登る。(設定の変更)

(反省：70cmの巧技台は高いので60cmに変更
 ニューゲームの横にマットを置く、他のクラスとの連携)

みんなであそぼう(園舎内での運動競技から親子での運動遊びへの展開)

◎テーマ・・・「ひろがり」

いけいけ GO GO! 9:15 (屋上)					
クラス	ふんわり	まっすぐ	ぐるぐる	さんかく	しかく
テーマ	動物園に行こう	さつまのおいも	ガラガラどん のピクニック	古代文明	
活動内容	① サーキット ② 親子遊び ③ 記念撮影	① ダンス かけっこ ② 親子遊び サーキット ③ 記念撮影	① サーキット ② 親子遊び ③ かけっこ ④ 記念撮影	① 親子遊び ② サーキット ③ 綱引き ④ 記念撮影	
終了予定	10:30頃	10:45頃	11:10頃	12:00頃	



3. その成果と評価

年齢別にそれぞれの課題に取り組み、課題を上げるときには必ず異年齢保育を用いました。それぞれ一人ひとりが満足いくまで行えるように、年齢別ではなく異年齢でサーキットを行うために多岐にわたる環境を保障し、その中から体幹の取得を促し、より遊びに集中できる子どもたちを育んだ。

4. 今後の課題と展望

身体表現の充実は保育の質と内容を深め、継続は日々の主体的な係わりとなり、子どもたちに一番育てたい主体性へと繋がるものと信じ職員一同日々の保育を楽しみたいと思います。

以上